平成３０年度　　田原中学校　学校評価書

１　教育目標（目指す生徒像含む）

|  |
| --- |
| （１）基本目標  　　　「人間の尊厳を重んじる教育を基盤に，生きる力をバランスよくはぐくむことを目指し，未来を切り拓いていける生徒の育成」  （２）具体目標（具体的な生徒像）  　　①　自ら学び実力のある生徒（知・徳・体の調和のとれた発達を目指し，自ら学び自ら考える生徒の育成）  ②　心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心をもち，社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成）  ③　健康でたくましい生徒（心身の鍛錬に努め，健康で活力のある生徒の育成）  （３）生徒指標  　　　「よく学び　よく鍛えよ」 |

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

|  |
| --- |
| ・学校は，子どもたちにとって，「安心できる居場所」であること  　・学校は，教職員にとって，「生き甲斐や遣り甲斐を感じる場所」であること  　・学校は，保護者・地域の方々から，「信頼される場所」であること  上記のような学校を目指し，心のふれあいを基盤とした豊かな人間関係に支えられた，温かみのある学校づくりを推進 する。 |

３　学校経営の方針（中期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

[田原地域学校園教育ビジョン]

　自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

|  |
| --- |
| （１）新学習指導要領の趣旨を踏まえながら，生徒の実態や学校や地域の特色を生かした教育課程の編成と実施に努める。  （２）学習意欲を高める指導や基礎・基本の確実な定着を図る指導，さらには，個に応じた指導方法や指導体制の工夫・改善を図るとともに，家庭学習の定着・充実を図ることにより，生徒一人ひとりの確かな学力の育成に努める。  （３）生徒一人ひとりの共感的理解を基盤とした生徒指導の充実を図り，望ましい人間関係を核とする学級集団づくりを通して，豊かな人間性や社会性の育成に努める。  （４）道徳の時間や心の教育の充実を図り，生徒一人ひとりの道徳的実践力を高めるとともに，読書活動や生徒が主体的に取り組む体験活動を通して，生徒の内面に根ざした心を育むことに努める。  （５）家庭や地域との連携を図りながら，健康管理や体力づくりを推進するとともに，食に関する指導の充実を図り，生徒一人ひとりが将来にわたって心身ともに健康に生活していける指導に努める。  （６）教育活動全体を通して，発達段階に応じた組織的・系統的なキャリア教育を推進し，生徒一人ひとりの社会的な自立に向け必要となる能力・態度の育成に努める。  （７）学校内の連携並びに家庭や関係機関との連携を図った特別支援教育を推進し，生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導と長期的な視点に立った支援に努める。  （８）田原地域学校園内の連携・強化を図りながら小中一貫教育を推進し，学校園教育ビジョンが掲げる生徒の育成に努める。  （９）教職員間の望ましい人間関係や教育環境を整備し，業務の効率化及び簡素化を図り，また教職員の創意工夫を生かした活気ある学校づくりの推進に努める。  （10）○学校・家庭・地域社会との連携を深め，信頼される学校を目指すとともに，地域に開かれた風通しのよい学校づくりに努める。 |

４　今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

◎「生徒一人ひとりの主体性を高める指導の充実」

　 〇自分のよさに気づき，自信を持たせる指導

　 ・活動の意欲を高め，粘り強く取り組ませる指導

〇自分の力でやり遂げる体験や場の充実

・生徒のよさを認め，ほめて伸ばす指導の充実

　〇互いに認め合う集団づくりの推進

◎「学習指導の強化」

　・自主的・主体的な学習態度の育成強化

　〇学びに向かう集団づくりの強化

　・わかる授業の展開の強化

　・個に応じた指導の工夫

　・意欲的に取り組む授業づくりの工夫

　〇小中連携による家庭学習の習慣化の強化

|  |
| --- |
|  |

５　自己評価（評価項目のＡは市共通，Ｂは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，Ａ拡充　Ｂ継続　Ｃ縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 評価項目 | | 主な具体的な取組 | 方向性 | 評　価 |
| 学校運営の状況  学校運営の状況  学校運営の状況 | No.１　学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。  【数値指標】  生徒の肯定的回答80％以上 | | 1. 本校の特色ある取組みの一つであるＧＣＲ活動で，生徒に活動の検証をさせながら自主的・主体的に取り組むようにする。   ②　茶道教室を通して，日本の伝統文化に対する興味・関心を高めるとともに，豊かで心穏やかな心情を育む。 | A | 【達成状況】  ・各対象で数値目標80％を上回り達成できた。  【次年度の方針】  ・引き続き，ＧＣＲ推進委員会において，今年度の反省点をまとめ，次年度の「ＧＣＲ活動」につなげると共に，地域に支えられた茶道教室等の一層の充実を図って行く。 |
| No.２　教職員は，組織の一員として熱心に教育に当たっている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答80％以上 | | ①　教職員は，「協同」意識を持ち，共通理解を図り，教科指導や生徒指導に熱心に当たる。  ②　教職員は，服務について理解し，常に生徒の模範となるよう心掛け保護者からも信頼されるように努める。 | B | 【達成状況】  ・生徒は値目標80％を大きく上回ることができた。保護者のみ6pほど届かなかった。  【次年度の方針】  ・引き続き，「協同」意識を高く持ち，教職員間でしっかりと共通理解を図り，保護者のより一層の信頼を得られるよう，情熱を持って授業や行事に取り組んで行く。 |
| No.３　生徒は，授業と生活のきまりやマナーを守り，秩序があり安全な学校生活をしている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答77.9％以上 | | ①　教職員は，日課表を基に，生徒にチャイムや学校のきまりを守って生活することの大切さを理解させ，安全・安心な環境整備に努める。 | B | 【達成状況】  ・生徒は値目標77.9％を大きく上回ることができた。保護者のみわずかに届かなかった。  【次年度の方針】  ・引き続き，学校のチャイムやきまりを守り生活することができるよう，基本的生活習慣の徹底を図っていくと共に，安全安心な環境整備に努めて行く。 |
| No.４　教職員は，分かる授業や生徒にきめ細やかな指導を行い，学力向上を図っている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答77.5％ | | ①　授業の中で，「めあて」を黒板に書くことや，「振り返り」を必ず行い，何を学習したのかを，生徒に確認させる。  ②　全教職員により，計画的に研究授業・研究協議を実施し，指導力の向上に努める。 | B | 【達成状況】  ・生徒は目標値77.5％を大きく上回ることができた。しかし，保護者は14p以上下回った。  【次年度の方針】  ・次年度も今年度の反省を踏まえ，学力向上を目指し，教職員の資質能力を高めるための研究授業や研究協議を計画的に実施して行く。 |
| No.５　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。  【数値指標】  生徒の肯定的回答93.7％ | | ①　道徳・学級活動等の授業を工夫し，**相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践していく。**   1. 「いじめ防止アンケート」等の教育相談機能により，早期発見に努めると同時に，**いじめの根絶をめざし，**組織で的確な対応に心掛ける。 | B | 【達成状況】  ・生徒は目標値93.7％を上回ることができた。  【次年度の方針】  ・引き続き，道徳や学級活動等において，相互理解と互いに高め合う集団づくりを実践していくと共に，定期的に実施するアンケートを指導に生かして行く。 |
| No.６　日課，授業，学校行事などの教育課程は，適切に実施されている  【数値指標】  生徒の肯定的回答90.1％ | | ①　教育課程に沿って，計画的に授業や行事等を実施する。  ②　週案により，管理職が教員一人ひとりの授業の進捗状況等の確認を行う。 | B | 【達成状況】  ・生徒は目標値90.1％を上回ることができた。他の対象も95％を超えた。  【次年度の方針】  ・引き続き，授業の確保と行事等の工夫・改善を行い，適正な教育課程の実施に努めて行く。 |
| No.７　学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。  【数値指標】  保護者の肯定的回答96.5％ | | ①　「学校だより」「学年通信」「学級通信」を定期的に発行する。  ②　ホームページの充実と，掲載内容の工夫に心掛ける。   1. 積極的なメール配信の活用。 | A | 【達成状況】  ・保護者は目標値96.5％に届かなかった。  【次年度の方針】  ・引き続き，学校だよりや学年・学級通信等を定期的に発行すると共に，ホームページの充実を図り，教育活動等を積極的に配信して行く。 |
| No.８　学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答80.6％ | | ①　PＴＡや地域協議会と連携し，学校教育活動を通して，交流を深め，支援・協力を得る。  ②　地域社会と連携し，積極的にボランティア活動や行事に参加・協力をする。 | B | 【達成状況】  生徒をはじめすべての対象で目標値80.6％を上回ることができた。  【次年度の方針】  引き続き次年度も，PＴＡや地域協議会と連携を図り，本校の教育活動を通して交流を深め，地域におけるボランティア活動や行事へ積極的な参加・協力を行う。 |
| No.９　校内は，学習にふさわしい環境となっている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答79.6％ | | ①　学校における施設・用具等の整理整頓及び計画的な修繕と，委員会を中心としたＧＣＲ活動のＣ（清掃）にも力を入れる。  ②　PＴＡや地域協議会の協力のもと，花壇や学校農園の充実を図る。 | B | 【達成状況】  生徒の肯定的回答は89.6％と10pも向上した。目標値79.6％を上回ることができた。  【次年度の方針】  　 引き続き次年度も，PＴＡや地域協議会の協力を得て，環境整備や花壇・学校農園の充実を継続していきたい。 |
| No.10　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答75.3％ | | ①　田原地域学校園（他２つの小学校）において，運営会議を定期的に開き，小・中の連携を図る。  ②　田原学校園地域協議会（他２つの小学校）において，運営会議等を定期的に開き，教育講演会や音楽のつどいを実施する。 | B | 【達成状況】  　 生徒の肯定的回答は84.8％と高く，すべての対象で目標値75.3％を上回ることができた。  【次年度の方針】  　 引き続き次年度も，学校園内２校の小学校と連携を図り，小中一貫の運営会議を定期的に開き，各部会での取り組みをより良いものとする。  また，田原学校園地域協議会の連携を図り，学校教育活動の支援・協力を充実させ，更に，交流を深める。 |
| No.20　道徳の時間の充実とＧＣＲ活動の推進によって，心の教育がしっかりとなされている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答81.3％ | | 1. 道徳の授業をにおいては，校内研修により教職員の意識をより高め，校内研修に取組み，授業を計画的に実施する。   ②　ＧＣＲ活動（Ｇ：あいさつ，Ｃ：清掃，Ｒ：読書）の充実を図る。  ・小学校に出向いてのあいさつ運動実施  ・清掃コンクール等の実施  ・朝の読書（10分間）実施 | A | 【達成状況】  　生徒をはじめすべての対象で目標値81.3％を上回ることができた。  【次年度の方針】  次年度も継続して，道徳の授業を土曜授業日等で全クラス公開したり，校内研修を行ったりして，授業力の向上を図って行く。また，生徒とともにＧＣＲ活動の充実も図って行く。 |
| 教育活動の状況  教育活動の状況 | 生  活 | No.13　生徒は，進んで あいさつをしている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答88％ | ①　ＧＣＲ活動のＧ：（あいさつ）を充実させるため，生徒会を中心とした取組の充実を図る。  ・あいさつ運動の推進  ・２つの小学校に出向いて，あいさつ運動を実施する。 | B | 【達成状況】  　生徒は95％と高く目標値88％を上回ることができたが,保護者,教職員とも80pを下回った。  【次年度の方針】  　引き続き次年度も生徒会を中心としたあいさつ運動を充実させて行く。指導する教員も，率先垂範で挨拶を励行する。 |
| No.14　生徒は，正しい言葉づかいをしている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答83.5％ | ①　授業中やその場に応じたにおける望ましい言葉づかいの習慣化を図る。  ②　礼儀正しく，場に応じた言動がとれる生徒を育成していく。 | B | 【達成状況】  　生徒は目標値83.5％を上回ることができた。教職員は75p と大きく下がった。  【次年度の方針】  　引き続き，道徳や学級会活動を通して，言葉づかいの大切さや，場に応じた言動がとれるよう指導・助言していくとともに，よくできている生徒を積極的に賞賛するようにする。 |
| No.18　生徒の行動状況の共通理解を図る。**※ H30年度　項目削除** | | | |
| 健康・体力 | No.15　生徒は，進んで運動する習慣を身に付けている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答81％ | ①　昼休み，校庭や体育館において身体を動かす呼びかけをする。  ②　放課後，積極的に部活動に参加するよう促す。 | B | 【達成状況】  　生徒は目標値81％を上回ることができた。教職員は75p と大きく下がった。  【次年度の方針】  　引き続き，昼休みの運動奨励を促し，放課後の部活動に積極的に参加するよう指導・助言をする。 |
| No.16　生徒は，栄養のバランスを考えて食事をしている。  【数値指標】  生徒の肯定的回答76.1％ | ①　家庭科と連携を図った栄養指導の実施  ②　給食委員会によるマナー指導，  ③「お弁当の日」を活用した栄養指導  ④　小・中連携した給食指導の実践   1. 学校農園を活用した食農体験 | B | 【達成状況】  生徒は目標値76.1％を上回ることができた。教職員も下がったが83.3p と低くはない。  【次年度の方針】  　引き続き，小学校や保護者と連携を図り，栄養のバランスを考えさせたり，「食農体験」に力を入れたりして行く。 |
| No.19　生徒は，健康の保持増進に努めている。**※ H30年度　項目削除** | | | |
| 学  習 | No.17　生徒は，進んで学習に取り組んでいる。  【数値指標】  生徒の肯定的回答79.6％ | ①　学習の「めあて」を明確に示し，生徒が自主的・主体的に学習に取り組む環境を整えるとともに「振り返り」を必ず行う。   1. 書く・話す・発表する等を意識した授業展開を工夫する。 | B | 【達成状況】  　生徒は目標値79.6％を大きく上回ることができた。保護者，教職員も昨年度から向上した。  【次年度の方針】  　引き続き，学力向上を目指し「わかる授業」を心掛けると共に，生徒が自主的・主体的に学習に取り組める指導方法について研究を進める。 |
| No.18　生徒は，落ち着いて学習に取り組んでいる。  【数値指標】  生徒の肯定的回答76.7％  教職員の肯定的回答92.6％ | ①　学習の「めあて」を明確に示し，学習活動や発表する場を増やし，生徒がより主体的に授業に取り組めるよう工夫する。  ②　グループ活動の有効活用や，個に応じた適切な指導・助言を行う。 | B | 【達成状況】  生徒は目標値76.7％を上回ることができた。保護者も昨年度から6p 向上した。  【次年度の方針】  引き続き，生徒が主体的に授業に取り組めるように学習活動や発表する場を増やすなど，授業方法を工夫して行く。 |
| No.20　生徒は，学習目標を理解し，学び方がわかっている。　**※ H30年度　項目削除** | | | |
| 本校の特色・課題  等 | No.22　**私は，言われなくても学年に応じた必要な時間，家庭学習に取り組んでいる。**  **※ H30年度 文言変更**  【数値指標】  生徒の肯定的回答**90**％  保護者の肯定的回答**80**％ | | 1. **毎週水曜日を「家庭学習の日」とし部活動なしで一斉下校させる。** 2. **生徒が学習に主体的に取り組めるよう，「学び方」の理解や「学ぶ楽しさ」を味わわせるための宿題を工夫する。** 3. **学年に応じた自主学習を推奨する。** | C | 【達成状況】  　生徒は目標値90％を下回り達成できなかった。保護者は更に大きく下まわり，生徒との差異の大きさが問題である。  【次年度の方針】  　引き続き，生徒が主体的に家庭学習に取り組めるよう宿題を工夫しながら，家庭との連携を図り，自主学習を推奨して行く。 |

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| 本校では，本年度も生徒一人ひとりの主体性を高める指導の充実と，学習指導の強化に重点を置き，教職員間で共通理解を図り取り組んできた。特に，本年度は，学力向上専門員を招いての学力向上校内全体研修会も３年目を迎え，「書く・話す・発表する。小集団による話合い活動の充実」をテーマに年間通して５回実施することができた。研究授業においては，全教員による公開授業と一つの授業（社会・理科）に絞った研究授業を，全教職員で観て，その後の研究協議に繋げる等，研究テーマに迫るための手立てを明確にして取り組んできた。  　⇒　その成果として，№17「生徒は，授業中に進んで話し合い，分かりやすく発表するなど，積極的に学習している。」においては，生徒が約7pも大きく向上し(86.48％)，教職員も1.4p向上した(79.2%)。他にも，№18「生徒は，授業中に先生や友達の話をよく聞くなど，落ち着いて学習している。」も生徒は2.1p向上(78.8％)し，教職員も0.9p下がったものの(91.7％)と高いことから，生徒は学校での授業の様子は，全体的には良好で，しっかり取り組んでいることがうかがえる。今後は，家庭学習を含めた学習習慣の定着をはじめ，一層の学力の向上を目指して指導の工夫を進めていく。  **特色ある学校づくり**については，引き続き本年度も。ＧＣＲ活動の充実と全学年による茶道教室，学校農園の実施等，小学校や地域との連携を図りながら取り組んできた。  ・ＧＣＲ活動のＧ：あいさつにおいては，本年度も生徒会を中心として実施してきた，校内でのあいさつ運動や小学校に出向いてのあいさつ運動の成果を生徒自身が感じている様子がうかがえるので，今後も指導の充実を目指して行く。  ・茶道教室は，１学年から３学年と時期を変えて実施し，本年度も，全学年で奥の深い日本文化に触れることができた。茶道の先生方のお話では，全学年で実施している学校は，県内では珍しいとのことであり，今後も継続していきたい。  ・学校農園では，本年度も学校の北側の550坪の農園において，１学年と給食委員会がサツマイモを栽培収穫し，給食の食材に使用したり，２つ小学校にも分けたりするなど，「食育」を通した小学校との交流にも繋げる取組みを行った。  こうした取組みの成果として，その結果である肯定的回答割合比較表から見ると，教職員は，昨年度に比べ肯定的回答が5p未満向上した項目が，4項目，5p以上大いに向上した項目が4項目であった。しかし，昨年度と比べ5p以上の下降した項目が3項目，5p未満の下降が６項目と，下降した項目が増えており，先生方の意識が高くなり，評価が厳しくなっている様子がうかがえた。今後も指導の成果などの評価を確認し，共通理解を図りながら指導を進めたい。  地域住民は，全ての項目において肯定的回答が80％以上であり，評価が非常に高い。しかしながら，№17・18の項目については，昨年度と比べ10p程度の下降があった。指導の工夫について，今後も取り組んでいく必要がある。  保護者においては，肯定的回答が昨年度より向上した項目が10項目もあり，学校の取組みに対しては，しっかり評価していただいていることがうかがえる。しかし，№2・3・13の「生徒指導」に関する項目や，№4・6の「学習指導」に関する項目では，わずかに下がっていた。これらは，学校職員への期待ととらえ，今後も真摯に学習指導や生徒指導に取り組んで行きたいと思う。  生徒においては，昨年度と比べて肯定的回答が80％以上の項目が6つ増えるなど，多くの項目で向上した。（昨年度は10，今年度は16）肯定的回答が80％を越えているところについては，今後もしっかりと維持できるよう指導を継続していきたい。また，肯定的回答が80％達していない項目（№18・22）については，共通して学習への取組みに関する項目であり，特に今年度新設した質問項目№22「**私は，言われなくても学年に応じた必要な時間，家庭学習に取り組んでいる**」については，生徒と保護者の回答の差がとても大きく課題であると考えられるので，次年度は家庭学習も含め，「自ら学ぶ意欲を高め，基礎・基本の確実な定着ができる生徒の育成」（学習習慣の確立）をテーマとして，家庭との連携をより高め，協力しながら学校全体として取り組んでいきたい。 |

６　学校関係者評価

|  |
| --- |
| 今年度も地域住民の肯定的回答は，全ての項目において80％を越える高い評価であった。今後も今まで以上の連携と協力を図り，生徒のために教育活動の充実に努めていきたい。また，特に今年度は生徒の肯定的回答の割合が向上した項目が多くなったのは，学校として良い方向に向かっていることに間違いないと思われるので，先生方は自信を持って教育活動を推進して欲しい。一方で，保護者や先生方の肯定的回答で下がっている項目も見られるので，生徒指導や学習指導等については，家庭のニーズ等を鑑みて，先生方のより一層の取組みの工夫や努力を期待したい。また，地域協議会としても「No.8：学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている」の肯定回答が，目標値は超えているが昨年度よりは下がっているので，情報を地域にもっと発信していきたいと考えている。 |

７　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

|  |
| --- |
| 今年度の結果を踏まえ，平成31年度の教育活動における本校の取組みを次に示す。  学習指導・・・・テーマ「自ら学ぶ意欲を高め，基礎・基本の確実な定着ができる生徒の育成」  　・学習態度や学習習慣を身につけさせる指導の充実  ・学習意欲を高める指導方法の工夫・改善を目的とした校内授業研究会の実施  　・習熟度別学習及びＴ.Ｔ授業やかがやきルームによる個に応じたわかる授業の推進  　・家庭学習の習慣化を図る工夫  　・教育活動全体を通した言語活動の実践  生徒指導・・・・テーマ「望ましい人間関係の構築を図り，自主・自律の精神を育む生徒の育成」  　・自らすすんで気持ちのよいあいさつのできる生徒の育成  　・正しい判断のもと，自分のよさを発揮できる生徒の育成  　・豊かな人間性や社会性を身につけさせるためのＳＧＥやＳＳＴを取り入れた指導の工夫  　　　　（ＳＧＥ：構成的グループ・エンカウンター　　　ＳＳＴ：ソーシャルスキルトレーニング）  　・Ｑ‐Ｕ検査を活用した学びに向かう学級集団づくりの推進  　・ＳＣ(ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ)及び教育関係機関との連携を密にした教育相談体制の強化  健康（保健安全・食育）・体力・・テーマ「自分の健康や体力に関心をもち，心身ともに健全でたくましく生きる生徒の育成」  　・基本的生活習慣の確立と望ましい食生活の定着（早寝・早起き・朝ごはん）  　・健康診断結果を生かした家庭との連携による効果的な健康教育の推進  　・各種だよりを通した家庭への啓発及び家庭における実践の推進  特色ある学校づくりに関する取組  ・農業体験学習・地域協議会の協力の下，学校農園を活用した農作物の栽培と収穫物を食する体験を実施し，食や農に対する関心と理解を深めるとともに地域の方々へ感謝することで心の交流を図る。  ・老人ホーム（さくらの杜）との交流・・高齢者との交流やボランティア活動を通して，共に生きることの実践をすることで，福祉に関する諸問題や福祉活動に主体的に取り組む態度を養う。  ・茶道教室・・・茶道体験を通して，日本の伝統文化に対する興味や関心を高めるとともに，豊かで心穏やかな心情を育む。  ・ＧＣＲ活動・・活動を通して，礼儀・感謝・責任・勤労奉仕・向上心などの態度を養い，自己を高めていく。  　　　Ｇ（Ｇreeting：あいさつ)　⇒いつでもどこでもだれにでも，元気のよいあいさつをする  　　　Ｃ（Ｃleaning：清掃）　 　⇒清掃活動に積極的に取り組み，こころをも磨く  　　　Ｒ（Ｒeading：読書）　　 ⇒朝の10分間読書を継続することで，こころを豊かにしていく |